



Mistral Les Indiennes de Nîmes

1938年に南仏カマルグで誕生した Mistral (ミストラル) はプロヴァンスの18世紀から19世紀のアーカイブの古い柄を引き継ぎながら、闘牛が盛んな南仏地方のガーディアン(カウボーイ)向けの様々な商品を現在でも作り続けています。
※ちなみにカマルグの闘牛は牛を殺さないのが特徴だそうです。

南フランスのプロヴァンス地方では地中海の偏西風による温暖な気候がもたらした開放的で明るい気分に溢れた文化が育まれました。

プロヴァンス生地の歴史をさかのぼれば、17世紀にインドから貿易港として名高い南仏マルセイユを経てこの地方に伝わったインド更紗です。

それまでフランスに無かったプリント柄に多くの人々が魅了され、そこで職人たちは東洋的な文様・色彩にプロヴァンス独特の自然、民族的色彩が溶けあった魅力的な織物を作り始めました。

プロヴァンス柄の最大の特徴はコットン生地に色彩豊かなプリントが施された細かな柄です。

17世紀に東インド会社から伝わったペイズリー柄をベースに、プロヴァンスの自然の意匠をあしらい、この地方独特の色彩が溶け合っただけでなく、小花やオリーブ、昆虫や太陽などの華やかな生地が生まれました。

その独特な色彩感覚は南仏の空気溢れる様に様々な柄の中で生かされています。

